

説 教

聖日礼拝 北浜チャーチ
黒田 禎一郎

2017年1月29日（日）

主 題：「主の安息に入る人生」

—最高の祝福—

テキスト：ヘブル人への手紙3章16～19節

はじめに

- ・世の中には、いろいろな噂話しがあります。
よい噂話しは問題ありませんが、悪い、間違った噂話しは大変困ります。
- ・たとえば2010年、宮崎県で口蹄病（牛、豚、羊などがウイルスによって感染し、発熱、水泡を生じる、人にも感染することがある。）が流行ったことがありました。徹底した消毒を行ったに関わらず、宮崎ナンバーであるという理由から、宮崎県内の運送業が県外でも積荷の受け取りを拒否されたことがありました。
- ・2011年3月11日、東日本大地震を発端とした福島第一原子力発電所事故が原因で、避難民がタクシーへの乗車を拒否されたり、いじめにあったりするケースが発生しました。そして農作物への風評被害も発生しました。本当に残念です。噂話しが一人歩きしました。
- ・海外でも噂話しはあります。2011年5月、ドイツで「腸管出血性大腸菌感染」(Enterohemorrhagic Escherichia coli ; EHEC)事件がありました。ハンブルク市当局は、感染源がスペイン産の“きゅうり”にあると発表、その後“きゅうり”が原因ではないと分かりました。これによってスペイン産の農作物が大被害を受けることになり、大問題となりました。
- ・人の噂話しは困ったものです。世の中には、真実ではない噂話しが流行ることがあります。多くの人々が、噂話しによって、押し流されています。今から約2千年前にも、同じように噂話しがありました。ヘブル人への手紙の著者は、次のように言いました。
2:1 ですから、私たちは聞いたことを、ますますしっかり心に留めて、押し流されないようにしなければなりません。
- ・そして神を信じた聖徒たちが、真実から目を反らさないように警告を与えました。なぜなら、永遠の神の御国の幸いに入る特権が与えられているからです。当時、神が与えてくださる幸いな祝福を曲げて伝える、誤った教えが広がっていました。そこで著者は3度にわたり、警告を与えました。私たち今日、次の2点から神の御声を聞きたいと思えます。

大切なポイント

1. ヘブル人への3度の警告

- ・ 著者は、神の民ユダヤ人に3度にわたり警告を与えました。3度という回数は、ユダヤ社会で特別の意味があります。たとえば、

① マタイの福音書

26:34 イエスは彼に言われた。「まことに、あなたに告げます。今夜、鶏が鳴く前に、あなたは三度、わたしを知らないと言います。」

② ヨハネの福音書

13:38 イエスは答えられた。「わたしのためにはいのちも捨てる、と 言うのですか。まことに、まことに、あなたに告げます。鶏が鳴くまでに、あなたは三度わたしを知らないと言います。」

③ ヨハネの福音書

21:17 イエスは三度ペテロに言われた。「ヨハネの子シモン。あなたはわたしを愛しますか。」ペテロは、イエスが三度「あなたはわたしを愛しますか。」と言われたので、心を痛めてイエスに言った。「主よ。あなたはいつさいのことをご存じです。あなたは、私があなただを愛することを知っておいでになります。」イエスは彼に言われた。「わたしの羊を飼いなさい。」

- ・ すなわち3度という回数は、もうそれ以上はない、確かなこと、を意味します。では、著者の3度とは、どういうものであったのでしょうか。

1) 第一の警告 (ヘブル2:1-4)

2:1 ですから、私たちは聞いたことを、ますますしっかり心に留めて、押し流されないようにしなければなりません。

- ・ 2章の1-4節において、著者はその大切な教えから離れないよう警告しました。神は新約聖書時代に入り、3つの方法でご自身を現されました。そして、「聞いたことに心を留めなさい」と警告しておられます。それはユダヤ人はじめ、全人類に向かっての警告です。

① イエス・キリストによって現わされた ヨハネ14章

14:9 イエスは彼に言われた。「ピリポ。こんなに長い間あなたがたといっしょにいるのに、あなたはわたしを知らなかったのですか。わたしを見た者は、父を見たのです。どうしてあなたは、『私たちに父を見せてください。』と言うのですか。」

② 弟子によって現された

- ・ 2:3 それを(救いの福音) 聞いた人たちが、確かなものとしてこれを私たちに示し・・・。
- ・ 「それを聞いた人たち」とは、イエスから福音を聞いた弟子たちのことです。イエス・キリストが復活され、昇天された後、弟子たちには聖霊が注がれました。そして「キリストの証人」とされました。使徒の働きには次のように書かれています。

2:32 神はこのイエスをよみがえらせました。私たちはみな、そのことの証人です。使徒の働き

- ・使徒の働きを読みますと、聖霊に満たされた弟子たちの言動が詳しく記録されています。証人とは元々、裁判用語でした。裁判官の前に立つ証人は、自分が見たこと{目撃}、その場にいた事実を証言するものです。イエスの弟子たちは、まさしく師であるイエスの証人でした。神は弟子たちを通して、ご自身を現わされました。

③聖霊によって現わされた ヘブル

- ・2:4 そのうえ神も、しるしと不思議とさまざまな力あるわざにより、また、みこころに従って聖霊が分け与えてくださる賜物によってあかしされました。
ヘブル

- ・マルコの福音書には次のように書かれています。

16:20 そこで、彼らは出て行って、至る所で福音を宣べ伝えた。主は彼らとともに働き、みことばに伴うしるしをもって、みことばを確かなものとされた。

- ・神はペテロ、パウロ、使徒たちに、驚くべき力と信仰を与えられました。それは初代教会時代です。たとえば、生まれながらに足の不自由な男が躍り上がって立ち、歩き出した奇跡です（使徒3：1～10）。また死んだ婦人を生き返らせた奇跡（使徒9：36～42）などです。神はこのように、ご自身を現わされました。神はこのように3つの方法で、ご自身を現わされました。

- ・愛する皆さん！ 今はイエスが来られてから、すでに約2千年の時間が経過しました。しかし今も、神の霊である聖霊によって、ご自身を現わして下さっています。

- ・神は今日も、お語りくださいます。励まし、慰め、勇気、与えてくださるお方です。⇒それは神の「恵み」です。人間の努力、勤め、修業によるものではありません。ただ神の「恵み」に過ぎません。

私たちは、努力によるのではない「恵み」の時代に生きているのです。なんとという幸いではありませんか。

- ・聖書の教えは、人間が考え生み出した宗教とは違います。天地を創造された神が、御子イエス・キリストを通して直接に語ってくださったものです。そして御子イエスを信じた弟子たちも、聖霊の導きによってこの真実を証しました。

- ・ここに神を信じるクリスチャンの「アイデンティティー」があります。

- ① 神の子どもとされた幸せ
- ② 神の国に生きる幸せ
- ③ 主に似る者へと変えられる幸せ
- ④ 御国への凱旋が待っている幸せ

- ・神を信じる者には、「こんなにすばらしい救い」が、信じるという「恵み」与えられました！

2) 第二の警告 ヘブル 3：7－11

3:7 ですから、聖霊が言われるとおりで、「きょう、もし御声を聞くならば、

- 3:8 荒野での試みの日に御怒りを引き起こしたときのように、心をかたくなにしてはならない。
- 3:9 あなたがたの先祖たちは、そこでわたしを試みて証拠を求め、四十年の間、わたしのわざを見た。
- 3:10 だから、わたしはその時代を憤って言った。彼らは常に心が迷い、わたしの道を悟らなかつた。
- 3:11 わたしは、怒りをもって誓ったように、決して彼らをわたしの安息にはいさせない。」

3) 第三の警告 ヘブル 3 : 14 - 19

- 3:15 「きょう、もし御声を聞くならば、御怒りを引き起こしたときのように、心をかたくなにしてはならない。」と言われているからです。
- 3:16 聞いていながら、御怒りを引き起こしたのはだれでしたか。モーセに率いられてエジプトを出た人々の全部ではありませんか。
- 3:17 神は四十年の間だれを怒っておられたのですか。罪を犯した人々、しかばねを荒野にさらした、あの人たちをではありませんか。
- 3:18 また、わたしの安息にはいさせないと神が誓われたのは、ほかでもない、従おうとしなかつた人たちのことではありませんか。
- 3:19 それゆえ、彼らが安息にはいれなかつたのは、不信仰のためであったことがわかります。

・このようにして、著者がここに書いた3度の警告は、「確かなこと」であると語りました。

・皆さん。警告、注意はしっかり受け留めなければ、繰り返します。
神が定められた律法（規則、ルール）を守らなければ、ルール違反となります。

{例 話}

- ・交通違反を繰り返す人の多くは、違反を繰り返すそうです（私は54年間、車の運転をしていますが、お陰さまで、ゴールド免許証です。少し自慢できます。）。しかし人間ですから“うっかりミス”はあります。それは先ずありうることです。
- ・しかし、何度も注意や警告を受けても、いつも違反を繰り返しては、違反点数が増えてきます。そして罰金も加わり、その内に免許取り消しとなります。それは違反常習者を放置していたら危険であるから、安全のためにルールが作られているのです。
- ・同じように、神は聖徒にも注意と警告を与えておられます。それは永遠のいのちと御国に入る者であることを、忘れないためです。つまり、はじめの愛、はじめの教えから離れて、誤った道へ行かないためです。

ヨハネの黙示録

- 2:4 しかし、あなたには非難すべきことがある。あなたは初めの愛から離れてしまった。
- 2:5 それで、あなたは、どこから落ちたかを思い出し、悔い改めて、初め の行な

いをしなさい。もしそうでなく、悔い改めることをしないならば、わたしは、あなたのところに行って、あなたの燭台をその置かれた所から取りはずしてしまおう。

- ・もう一度申しますが、著者は愛する同胞が間違いの方向へ行かないよう、3度の警告を与えました。では、もう少しその警告を掘り下げてみましょう。

2. なぜ、3度の警告を発したか？

- ・聖書は次のように語っています。 **I ヨハネの手紙**
5:13 私が神の御子の名を信じているあなたがたに対してこれらのことを書いたのは、あなたがたが永遠のいのちを持っていることを、あなたがたによくわからせるためです。

1) 警告の目的

- ・著者は、自分がこの書簡を書いた理由は「あなたがたが永遠のいのちを持っていることを、あなたがたによくわからせるためです。」と言いました。すなわち、3度の警告は愛から出ているのです。教訓（イスラエルの失敗）から十分学びなさい、という愛の警告です。
- ・著者は、あなたがたは神の民であるから、「永遠のいのち」を持っていると言いました。ここで教えられることは、人間は死んだ後、神の前に立つまでは救われているかどうか不明ということではないことです。すでに分かるのだということです。つまり聖書が教えているところを、よく理解すれば、救いの確信を持つことができます。そして、その救いの確信を持ち続けるなら、私たちはキリストの御国の祝福に与ることができるのです。

3:14 もし最初の確信を終わりまでしっかり保ちさえすれば、私たちは、キリストにあずかる者となるのです。ヘブル

2) 私たちへの教訓

- ・イスラエルの民は、どうであったでしょうか？ 彼らは、神によってエジプトから救出され、約束の地へ旅をして行きました。神の恵みによって、奴隷生活から解放され、荒野を旅し、神の助けを経験しながらも、神の御声に心をかたくなしていました。
- ・約200万人の民を先導したモーセでさえも、約束の地へ入ることは許されませんでした。彼はネボ山で約束の地を見るだけでした。後継者ヨシュアがイスラエルの民を、約束の地へ導きました。

- ① このことは、私たち今日のクリスチャンにも教訓を教えています。私たちクリスチャンも、旧約時代のイスラエルの民と同じように、約束の地が与えられています。彼らの場合は地上のカナンでした。しかし私たちの場合は、天の御国です。
- ・つまり、イスラエルの民に与えられた約束の地カナンは、本当の安息の地である天の御国を指し示しているのです。イスラエルの民も、信仰を持ちつづけるならば、約束

の地へ全員入ることができました。しかし、ヨシュアとカレブ以外は、全員入ることはできませんでした。それは神への不信仰が原因でした。

- ・ 私たちも彼らと同じようです。

3:14 もし最初の確信を終わりまでしっかり保ちさえすれば、私たちは、キリストにあずかる者となるのです。

- ② では、どうすればよいのでしょうか。私たちはイスラエルの民の出来事を教訓としてとらえ、神から離れることがないように気をつけることです。

せつかく与えられた神の恵みを、私たちは無駄にしてはいけません。そこで大切な事は何でしょうか？

(1) みことばに基づいた救いの確信を持つこと

(2) 日々、みことばをよく読み、それを自分に適用して、神から離れることがないように心がけることです。

- ・ 私たちはどのように聖書を読むべきでしょうか？ **2テモテへの手紙**

3:16 聖書はすべて、神の靈感によるもので、教えと戒めと矯正と義の訓練のために有益です。

このみことばには、大切なヒントがあります。 すなわち、**聖書は神の靈感によって書かれた書ですから、聖霊の助けを受けて読むということです。**

- ・ 神の靈感によって書かれたということは、何か神秘的な力に導かれて、ビビビーと感じて、その時の言葉を書き取ったという意味ではありません。**著者が神のことばを書いた時、神が彼らの人格と知識、知恵、考え方を最大限に使い、聖霊の息を入れ、靈感を与えられたという意味です。**

- ・ 人間の単純な著述ではなく、聖霊が与える靈感によって記録され、神のみ心が宿っている書です。ですから、聖書は聖霊の助けによって読む時、解釈する時、生きておられる神の声を正しく聞くことができるのです。さらに私たちは神の声を、噂話しか否かを、聞き分けることができるのです。 **ヘブル人への手紙**

4:12 神のことばは生きていて、力があり、両刃の剣よりも鋭く、たましいと霊、関節と骨髄の分かれ目さえも刺し通し、心のいろいろな考えやはかりごとを判別することができます。

- ③ 皆さん。むつかしいことではありません。一言、お祈りすることです。

神の前に出て、心を静め、もし罪があるならば告白してください。なぜなら神は聖なる方ですから、私たちは罪をもったまま交わりが持てないからです。

- ・ イエス・キリストは罪人のために、身代りとなり、罪人の罪を背負い十字架につけてくださいました。そして聖い御血を流してくださいました。

聖書：「**御子イエスの血はすべての罪から私たちをきよめます。**」

Iヨハネ1:7

- ・ そして罪赦された人は、神の前に義とされます。

聖書：「**ですから、あなたがたは、互いに罪を言い表わし、互いのために祈りなさい。**

いやされるためです。義人の祈りは働くと、大きな力があります。」

ヤコブ5:16

- ・ですから、「主よ！私にお語りください。」と、一言祈ることで。そうすれば、神はみことばを通して、お語りくださいます。その人こそ、「主の安息に入る人生」を送る人です。

ま と め

主 題：「主の安息に入る人生」

—最高の祝福—

- ・今日、私たちは神のみ声を聞きました。ヘブル人への手紙の著者は、愛する同胞ユダヤ人クリスチャンに、3度にわたり警告を発しました。それは神に愛され、幸いな安息の地（神の御国）へ入る者として、遠回りの人生を歩まないようにです。いかがでしょうか。私たちは今、立ち止まり、心静めて、自分の人生を考えてみようではありませんか。
- ・どうすれば、教訓を生かすことができるでしょうか。
⇒世の流れに押し流されないため、神の警告を警告として聞くこと

1. みことばに聞くこと

それは聖霊の助けによって、みことばに耳を傾けることです。

2. 「主よ！お語りください。」と、祈ること

主は罪赦された聖徒の祈りを聞いてくださいます。

* God bless you!